

Kyokuryo Exchange Program

「旭陵留学生プログラム」Newsletter

岐阜県立中津高等学校
同窓会
平成29年11月9日
Vol.1

速報!

旭陵留学生プログラム第13期生 伊藤智紀くん、小南菜子さんよりカナダからジャーナル第1号が届きました。現地に渡り2か月が経った今、二人の現状や今後の課題や目標、学校そしてホストファミリーについて報告します。



1. 2か月を振り返り成長したと思うことは何ですか。

自分から話し出すことが以前より自然にできるようになった。また、日常会話をしているリスニング力が少しついたように感じます。(でもまだまだですが・・・)

2. 大変だったこと、つらかったことは何ですか。

学校では毎日が精一杯で何が大変だったのか正直あまり覚えていません。たくさんの生徒に話しかけるのが大変だったのだと思います。

3. ホストファミリーについて教えてください。

父 Alan、母 Carolyn、姉 Ashely、双子の兄 Jesse と Jerrod が家にいるが他に Edmonton、Shawn、もう一人家族を持っている Cody がいる。全員18歳以上。みんな楽しく親切にしてくれている。いつも家に友達や親せきが集まり、シェアハウスのような感じです。一つ問題があるとすると、父 Alan のジョークについていけない時があることです(笑)。(第13期生 伊藤智紀くん ジャーナルより)



1. この2か月を振り返り、学校生活、学習面で目標をどれだけ達成できたか。

すべての授業で話せる友達ができた。しかし、話しかけて会話を始めることはできても会話が続かない。Yes か No で答えてしまうことが多く、説明したり、その日の出来事を話すことが十分にできない。うまく伝わらずあきらめてしまうことがよくある。

2. ホストファミリーにどれだけ貢献できていますか。

夕食後の皿洗いを担当することになり、毎日欠かさず出来ている。放課後はかなり時間があるので、ほかにもできることを見つけチャレンジする。

3. 住んでいる地域とホストファミリーについて

私の住んでいるオンタリオ州ケノーラは湖がたくさんあり、とても自然豊かなきれいな場所です。ホストファミリーには父、母と小さな子供が4人います。親戚がたくさんいて、集まりパーティーをすることも多いです。ホストファミリー、マザーともにすごく忙しくしていますが、平日の夕食後は家族でテレビを見たり話したりして一緒に時間を過ごしています。子供たちとは外で遊んだり、折り紙や絵を描いて遊んでいます。



お知らせ

現地からのジャーナルは2が月に一度届きます。次回号をお楽しみに!!



(第13期生 小南菜子さん ジャーナルより)

